

臨床工学課

技士長 伊香 元裕
いこう もとひろ



部門の紹介

当院の臨床工学課には、臨床工学技士（国家資格）5名が在籍しています。臨床工学技士は現在の医療に不可欠な医療機器に関する専門職であり、チーム医療の一員として診療技術支援および医療機器管理業務を行っています。医療の進歩に付随して医療機器もより複雑化し専門性も増す中、それらを使用した検査・治療が安全かつ効果的に行われるような基盤整備を当課が担っています。

主な業務内容

- ・医療機器管理業務
（中央管理/日常点検/定期点検/修理/更新・廃棄）
- ・手術立会い（医療機器セットアップ/不具合対応）
- ・肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
- ・各種血液浄化療法
（持続緩除式血液濾過/血漿交換/吸着式血液浄化法 など）
- ・造血幹細胞採取
- ・チーム医療活動（呼吸ケアサポートチーム/感染制御チーム）

特徴・強み

当院は救命救急センター、小児救急・小児総合医療センターおよび消化器・肝臓病センターを有し、成人・小児・急性期・慢性期を問わず多種多様な病態に対処しています。当課では各種血液浄化療法や緊急手術、呼吸療法などの技術サポートを行う事でその体制を支えています。中でも血液浄化療法に関しては、小児患者に対する各種急性血液浄化や自己免疫疾患に対する免疫吸着など様々な治療の経験を有し、各診療科の要望に応じて迅速に対応可能となっております。

また、平成30年度の新病院移転に伴い、生体情報モニタシステムや医療機器管理システム、重症系部門システムなどが新規導入され、診療環境が整備されました。その中で医療機器に関連する領域は当課でマネジメントを行い、看護師業務の負担軽減にも繋がっています。

人員の増員に伴い保守管理する医療機器の領域も拡大中であり、更なる医療機器安全環境の向上に努めていきます。

業務実績

医療機器使用後点検	8568件
医療機器定期点検	453件
医療機器修理	301件
急性血液浄化療法	34件
造血幹細胞採取	4件
ラジオ波焼灼術	10件

その他業務（手術室立ち会い/呼吸ケアサポートチームラウンド/医療安全ラウンド）
医療機器安全管理責任者業務